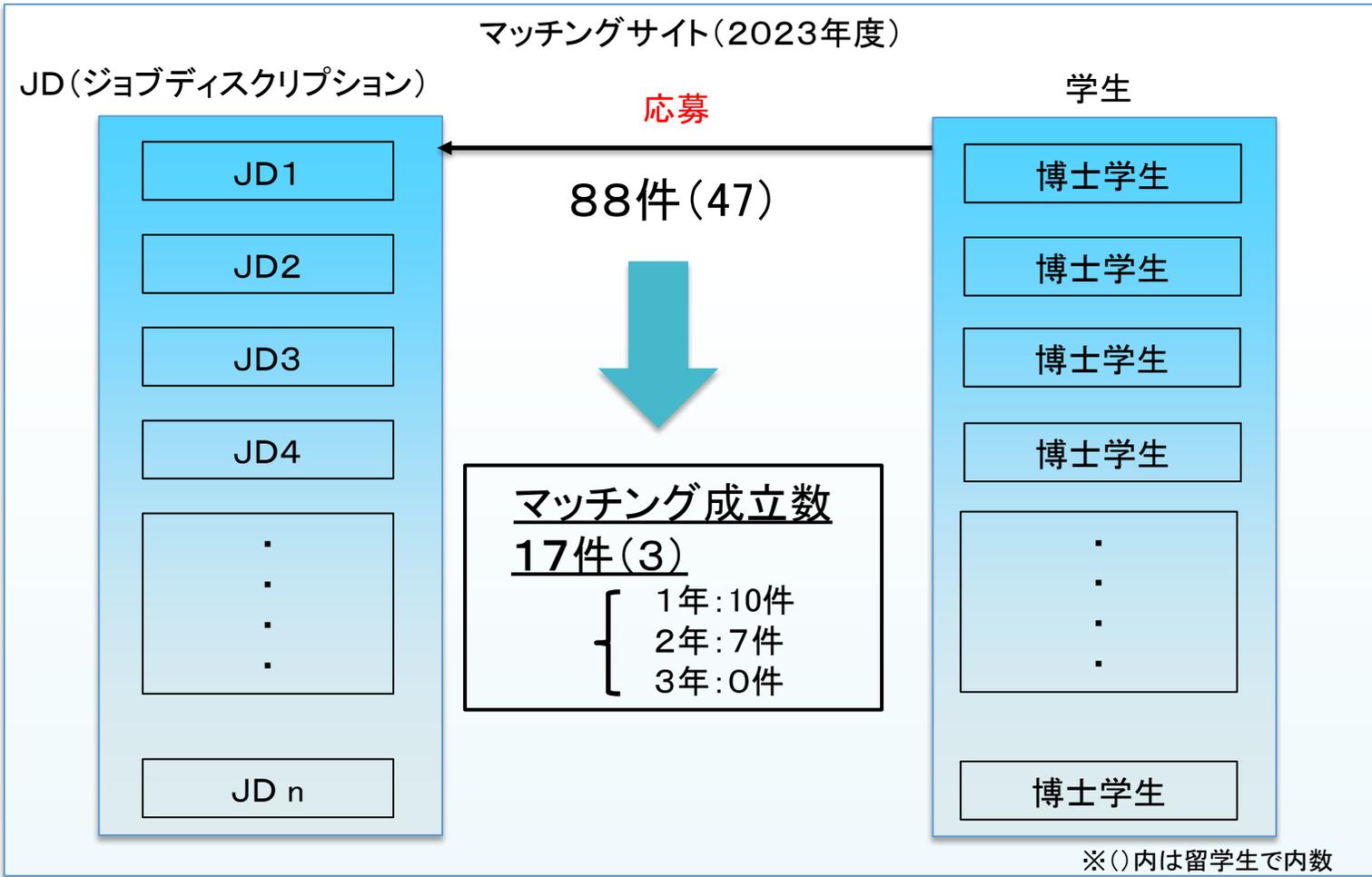


# ジョブ型研究インターンシップ 2023年度実施結果について

# ジョブ型研究インターンシップ 実績

※2023年12月末時点 ※選考は2024年3月まで継続中



提示・募集 20社

↑ 127JD (募集人員144名)

会員企業57社 (※)

学生情報登録

↑ 1,400名 (留学生503名)

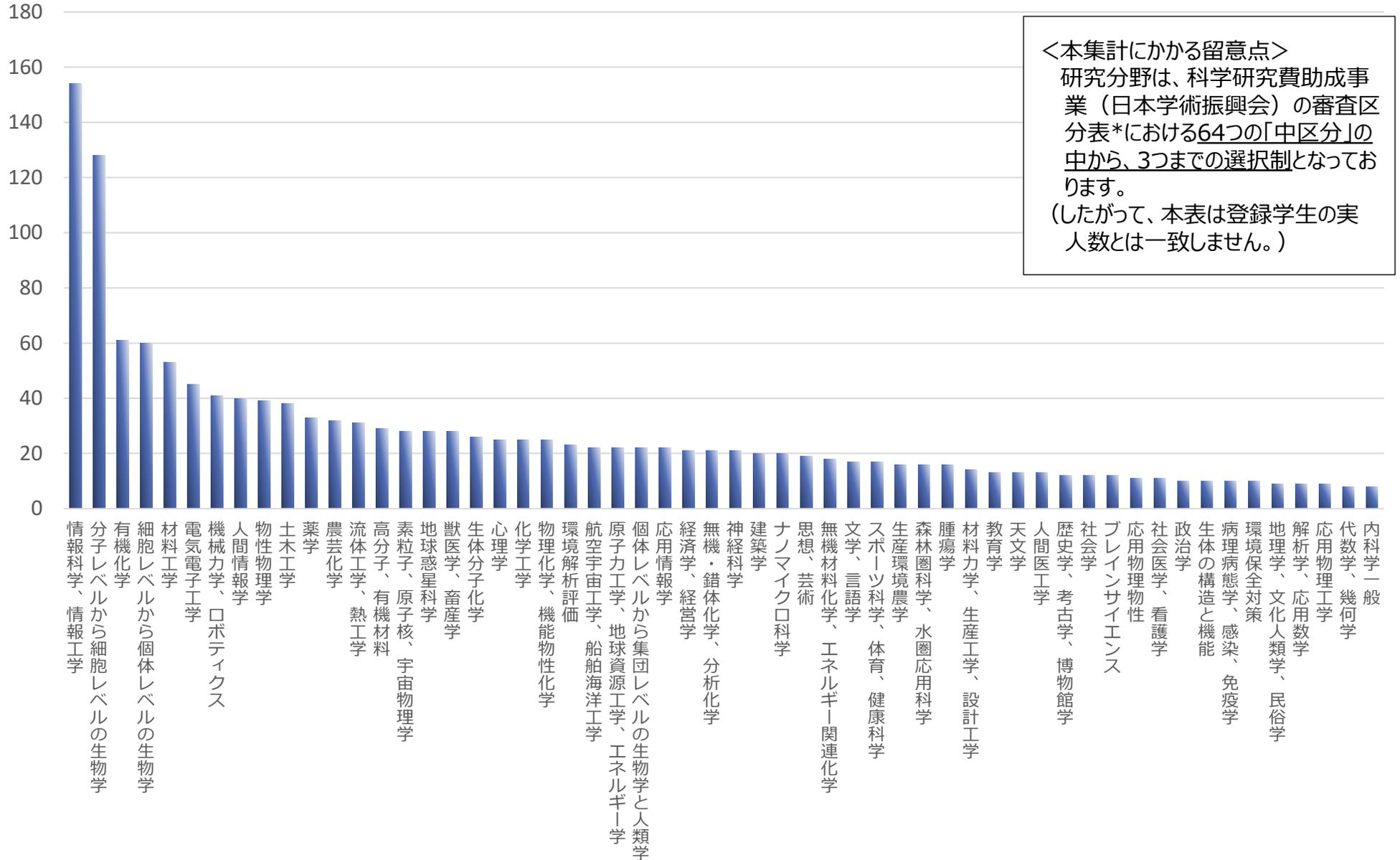
{ 1年: 412名 [29.4%]  
2年: 529名 [37.8%]  
3年: 388名 [27.7%]  
その他: 71名 [5.1%]

会員大学77大学 (※)

(※) 会員企業数・大学数は2023年12月末時点

# 2023年度 登録学生の傾向 (1) 研究分野

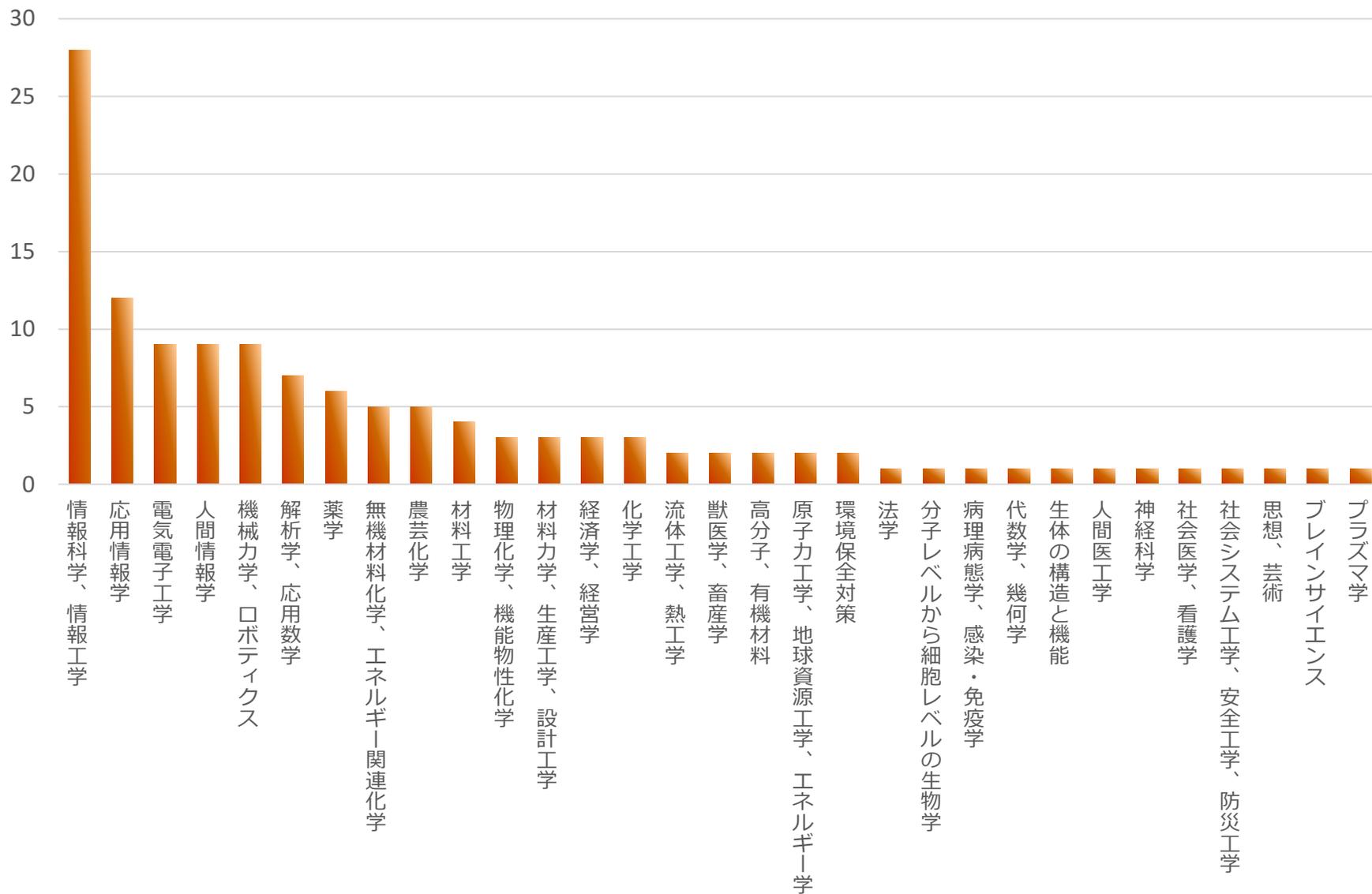
※5件未満は省略、2023年12月末時点



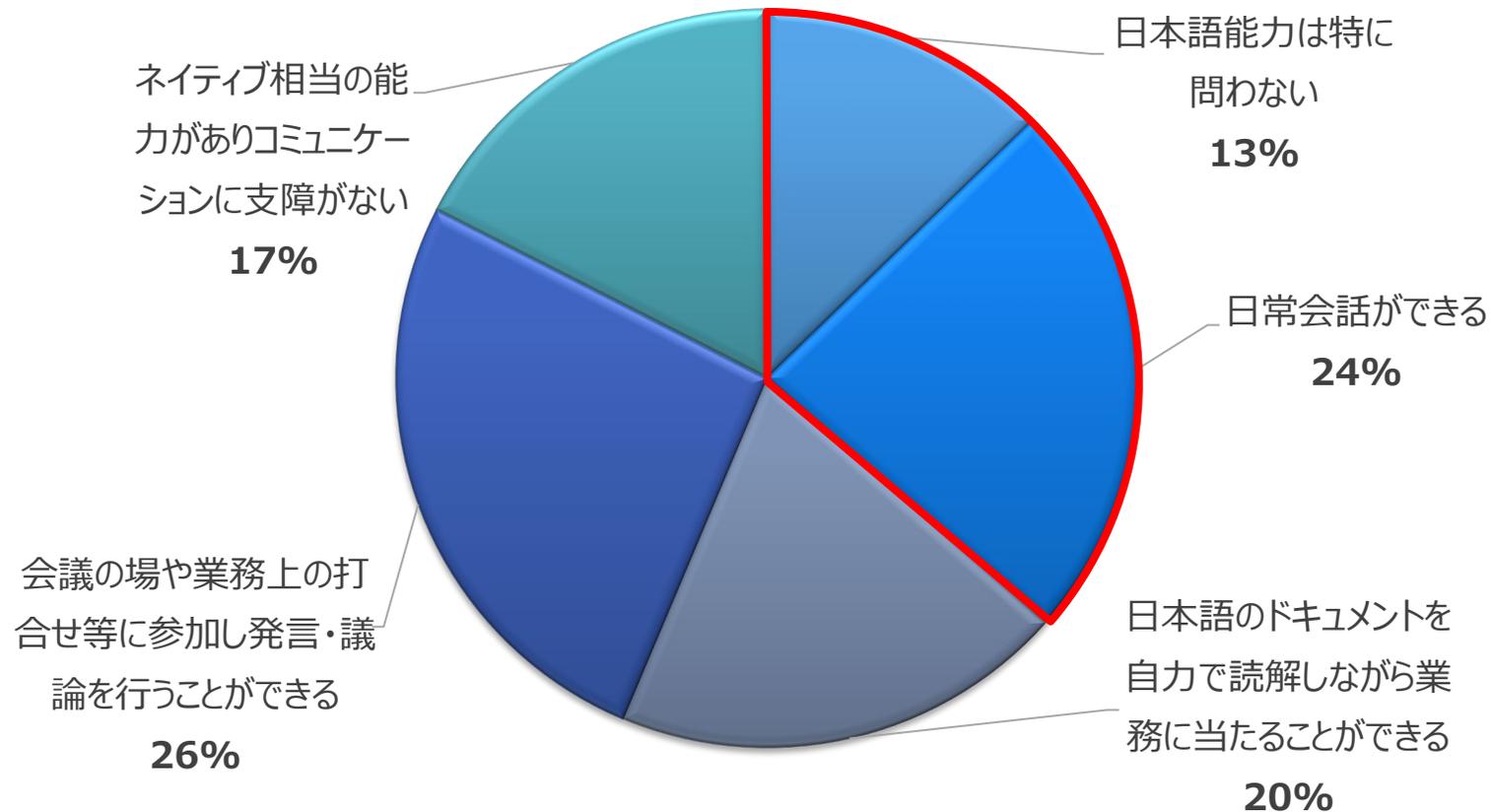
＜本集計にかかる留意点＞  
 研究分野は、科学研究費助成事業（日本学術振興会）の審査区分表\*における64つの「中区分」の中から、3つまでの選択制となっております。  
 (したがって、本表は登録学生の実人数とは一致しません。)

\*科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会, 2023, 科学研究費助成事業 審査区分表, 日本学術振興会ウェブサイト, (2023年12月11日取得, [https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02\\_koubo/shinsakubun.html](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html))

# 2023年度 登録JDの傾向（1）研究分野（事務局推定）



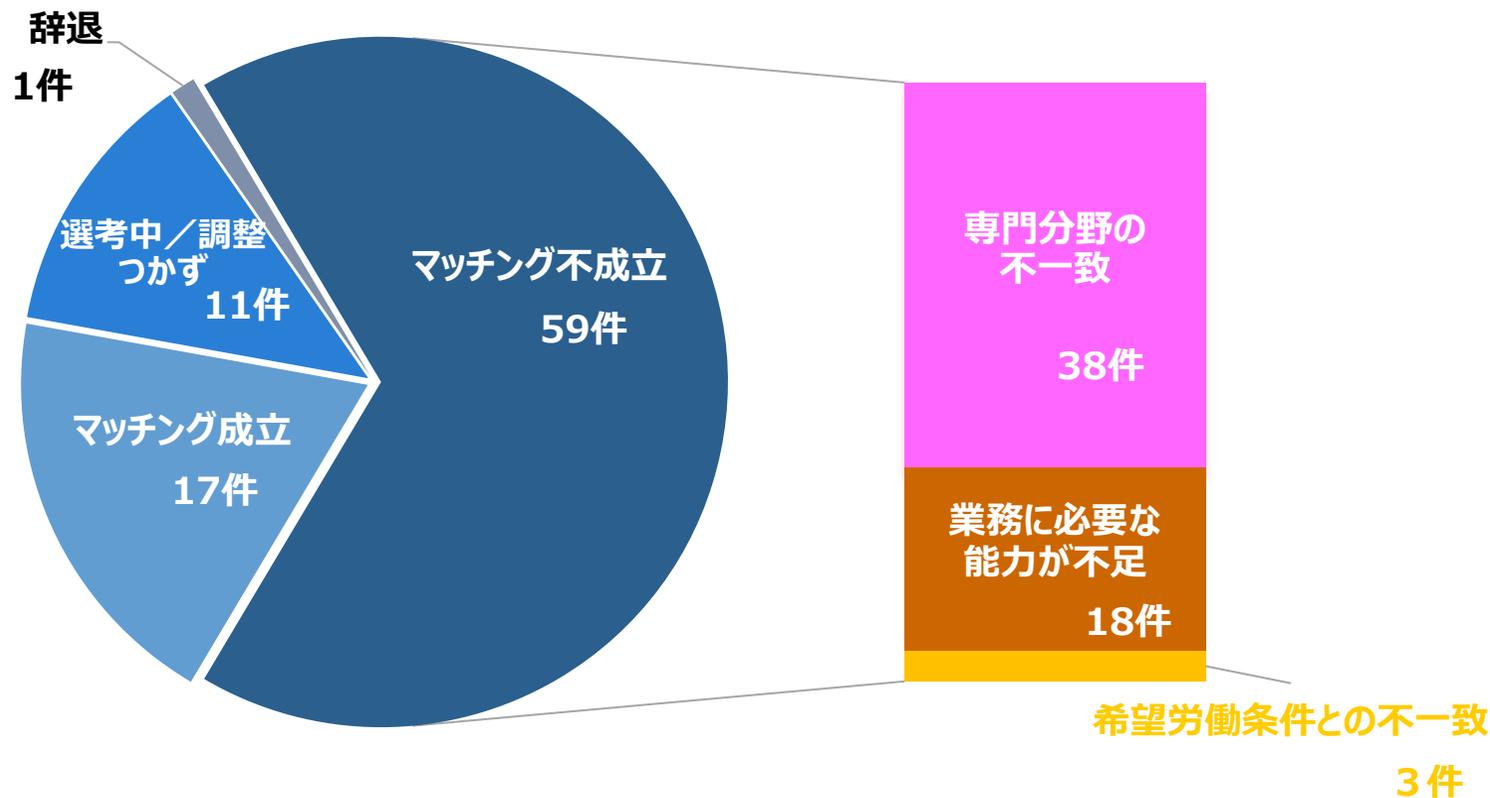
# 2023年度 JDの傾向（2）業務遂行において求める日本語能力について



◆ 「日本語能力は特に問わない」「日常会話ができる」というJDが**37%**

⇒ 高度な日本語運用能力必要でないJDも一定数存在している

# 2023年度 マッチング不成立理由について

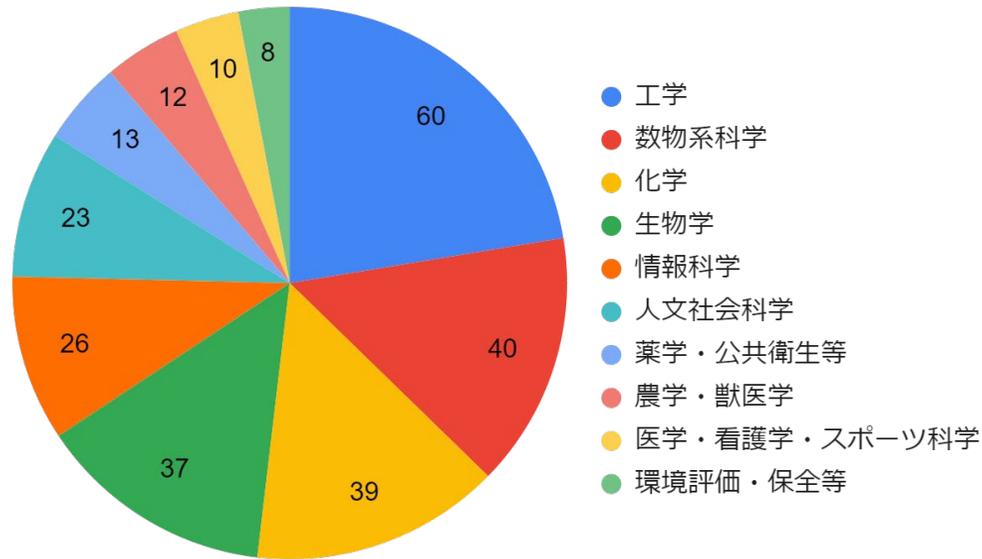


- ◆ 応募件数88件の内訳をグラフ化したもの
- ◆ 応募者についての選考結果をシステム内で登録する際、不成立の場合はその理由を企業が回答している
- ◆ **マッチング不成立理由の約65%が「専門分野の不一致」となっている**

# 2023年度学生中間アンケート結果概要

- 回答期間：2023年10月5日（木）～10月31日（火）
- 対象者：ジョブ型研究インターンシップ事業参画大学に所属する博士課程学生  
※システム未登録者も含む
- 回答者数：268名（日本語200名、英語68名）
- 実施形式：オンライン
- 実施者：ジョブ型研究インターンシップ事務局（株式会社アカリク）

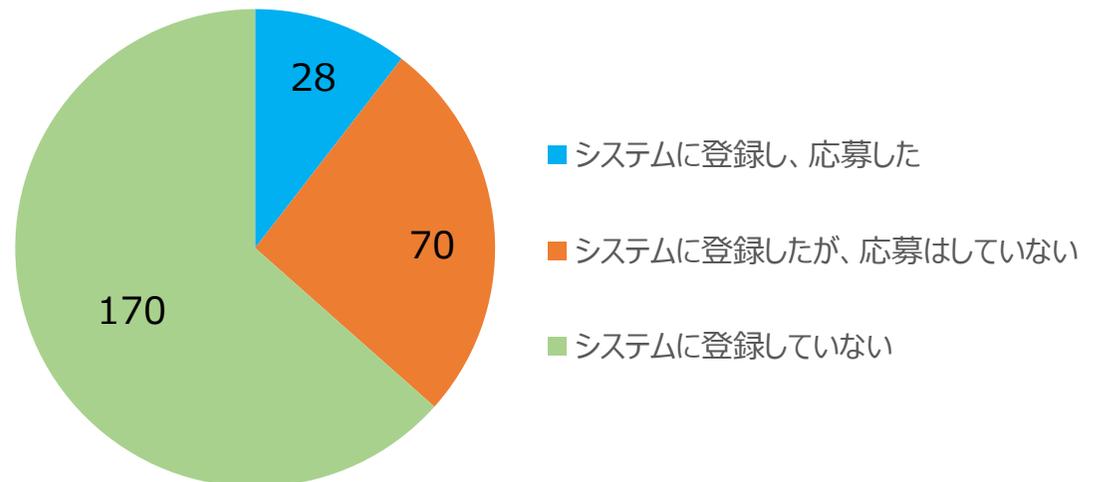
# 回答者の研究分野内訳 (n=268)



## すべての回答者の方へ -登録・応募について-

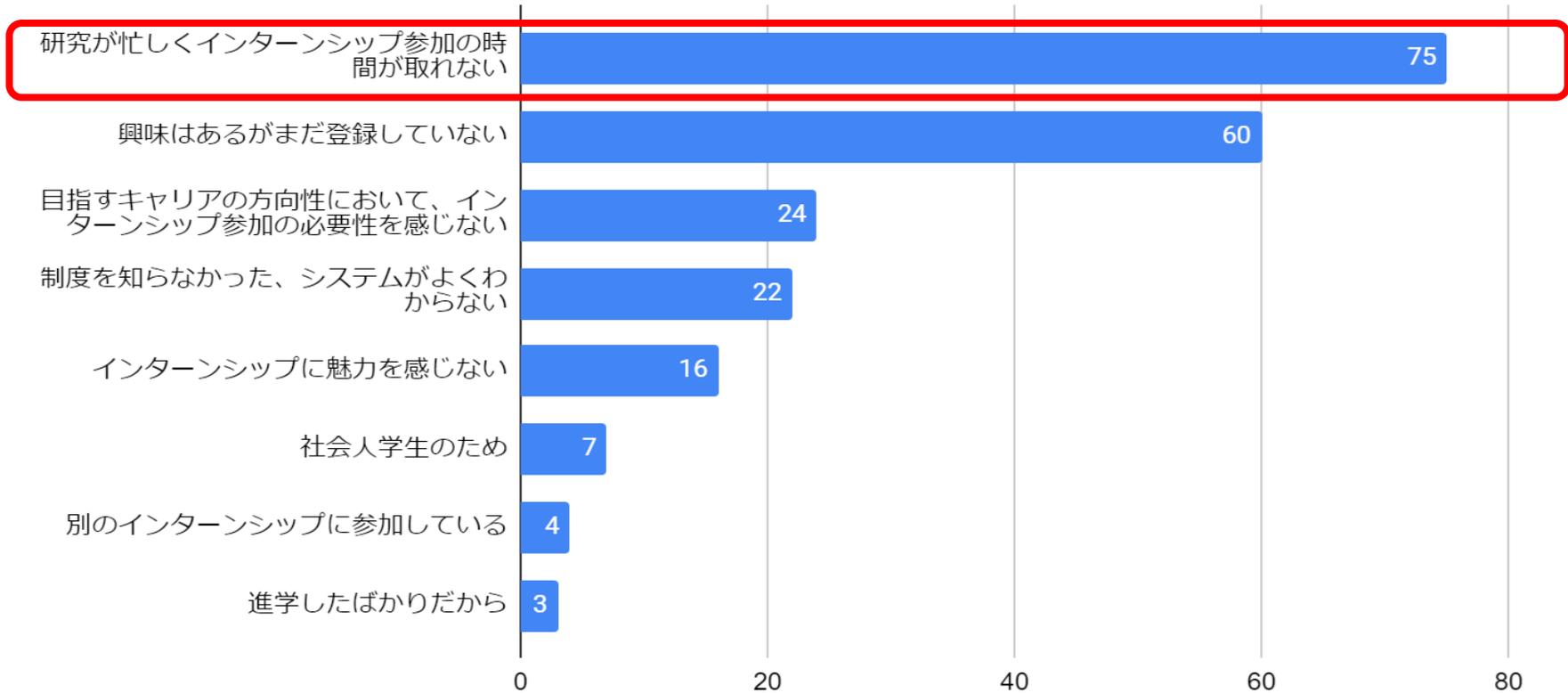
### 【問 1】

ジョブ型研究インターンシップのマッチングシステムに登録しましたか。  
また、実際にインターンシップに応募しましたか。



# システムに登録していない方へ

【問2】システムに登録していない理由として当てはまるものにチェックを入れてください。  
(複数回答可)

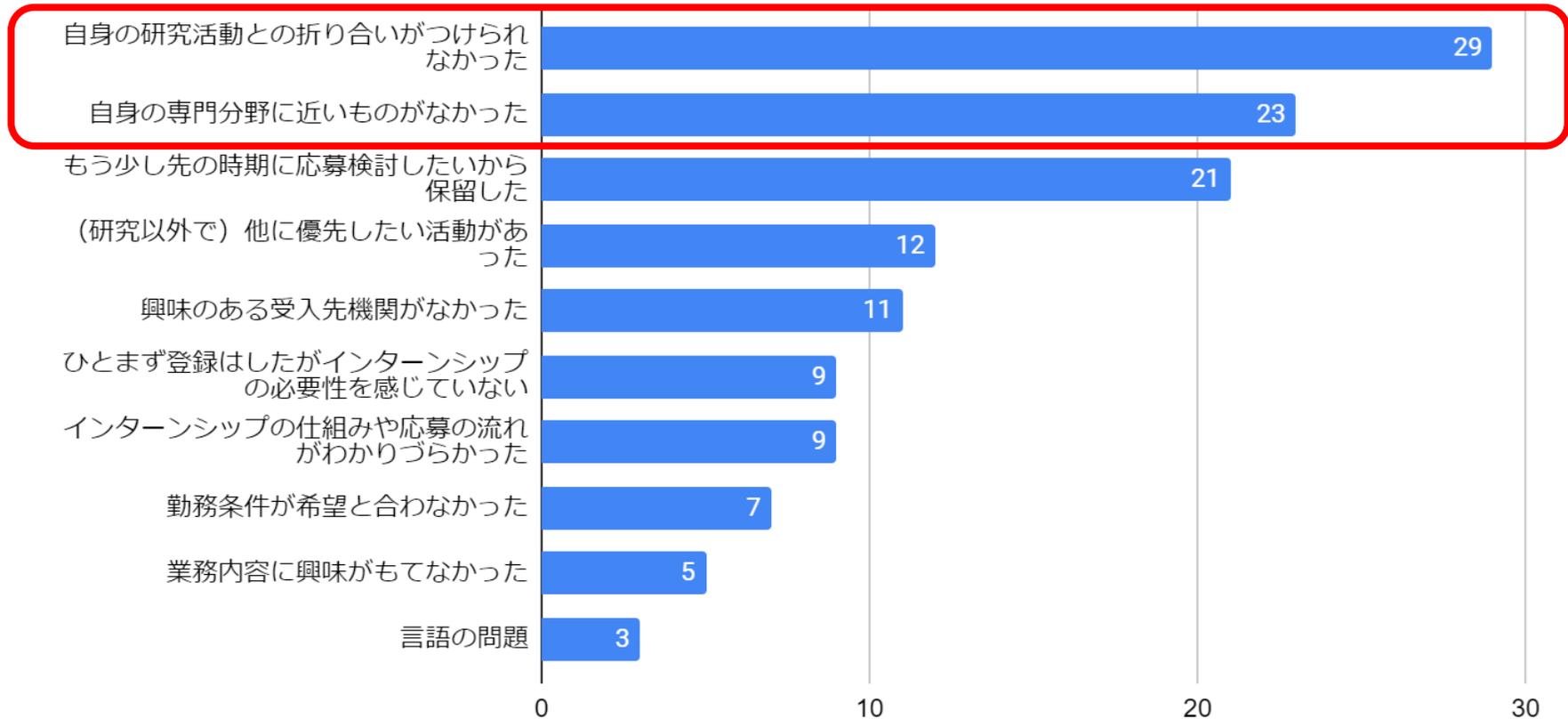


## その他の回答 (各1件)

- 文系ジョブが少ない
- 英語で応募できるジョブが少ない
- 内定済みのため
- 指導教員と相談の上
- 日本語ができないから
- 必要性なし
- 卒業間近のため
- 研究室で禁止されている
- 日本で就活しない

# システムに登録したが応募していない方へ

【問3】 応募しなかった理由について当てはまるものを全て選択してください。



## その他の回答 (各1件)

- 忙しい
- 別のインターンシップに参加した (C-ENGINE)
- 指導教員の許可が得られなかった
- 応募必須条件を全て満たせなかった
- 2か月のインターンシップの時間を確保できなかった

# システムに登録したが応募していない方へ

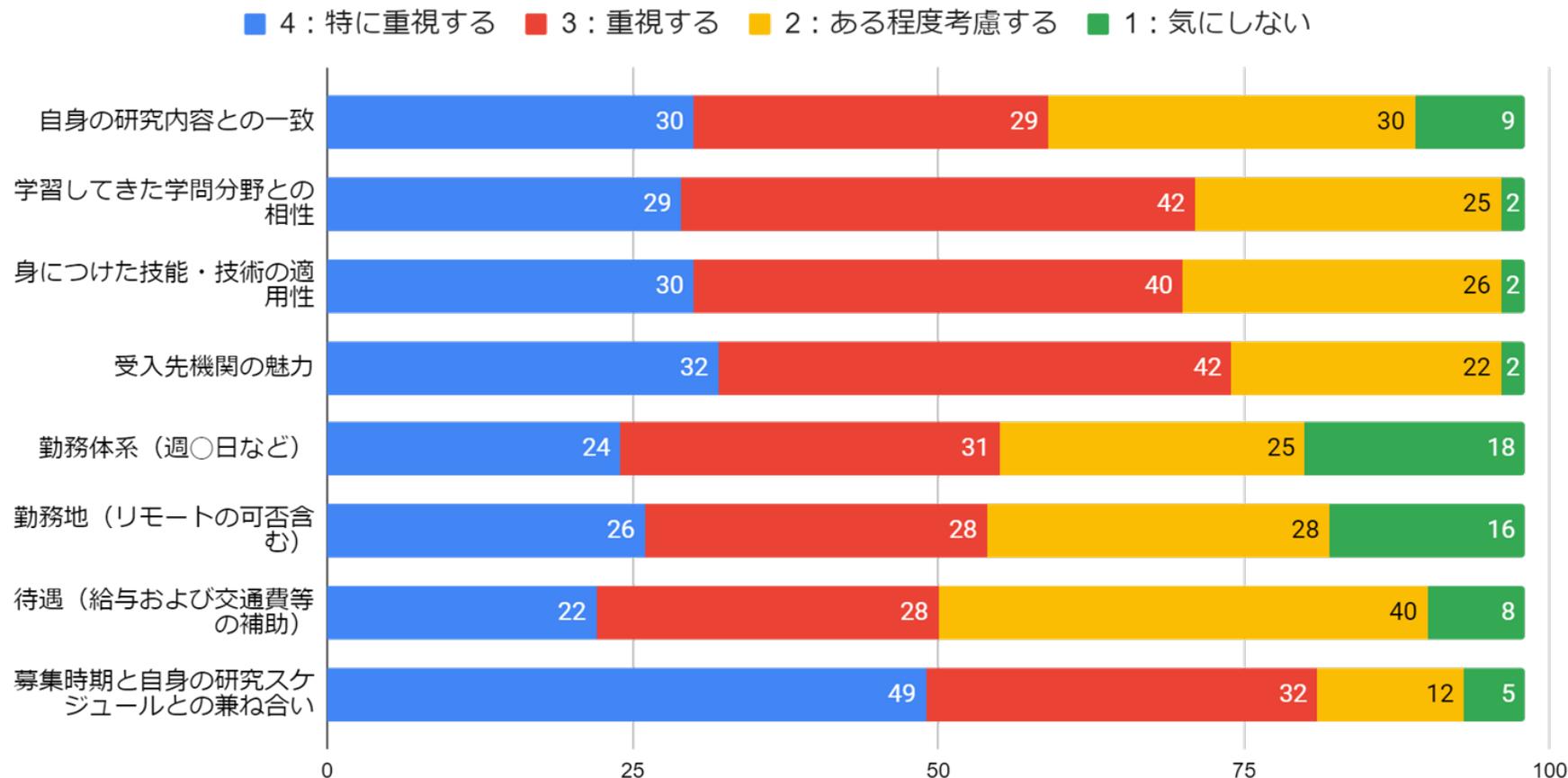
【問4】問3で選んだ回答についてのより具体的なお意見や、「どのように改善されれば応募したいか」について、自由にご意見をご記入ください。（※重複内容は割愛、原文ママ）

- ジョブ型研究インターンシップの重要性を頭で理解しつつも、どこか他人事になってしまっている。インターンシップの仕組みや応募の流れの可視化、研究が研究につながることへの意義など、ジョブ型研究インターンシップに参加するまでの段階で**オンラインや対面で短時間の丁寧な説明会**の機会がほしい。
- **リモートや大学の設備を使用してできるような環境**
- 最初の頃と比べるとジョブの数は増えてきたように思えますが、その多くが情報系人材を欲しているもので、自身の分野と合致するジョブの数はほとんど変わっていない(ほとんどない)印象があります。情報系の知り合いにはもともと学部や修士の頃からインターンもやっている人を多く知っているため、そういった**分野ごとの感覚の違い**はあるような気がします。共同研究者が多い研究や細胞/動物にかかわる研究を進めていると、正直なところ**数か月後に1か月単位で予定を空けられるかなどわかるはずもなく**、そうなるにつれてわざわざ時間と労力を割いて応募するのも面倒になります。特に自分の分野だと応募ボタンを押してから先の情報(エントリー後の選考や実際のインターンシップ)を持っている人がほとんどおらず、ブラックボックスになって不安感もあるので、**近い分野の人で先行事例**などがあると応募しやすさが上がるかなと思いました。
- **材料工学近辺（例えば、セラミックスやナノ粒子触媒）**のテーマがあれば、状況にもよりますが応募を検討いたします。
- 母数がそもそも少ないですが、**自然科学系の受入先機関が増えると幸いです。**
- 薬剤系の募集が多いイメージで、**バイオテクノロジー分野のインターンがあればぜひ参加したい**
- 長期間労働するのに対して、**採用されるかわからない状況を改善すればよいと捉える。**
- 博士の修了条件が緩和されれば研究に割く時間を減らすことができ、インターンシップに応募することができるようになる
- I found that most of the internships have Japanese language requirements. It is **better for international students to also be available in English.**
- I spent all my time doing the experiment. I **don't have time for an internship.**

「近い分野でのジョブが増えてほしい」という趣旨

# (応募有無に関わらず) システムに登録した方へ

【問5】 応募先を選択する際、以下のいくつかの基準についてどの程度重要視するかを4段階で入力してください。



# (応募有無に関わらず) システムに登録した方へ

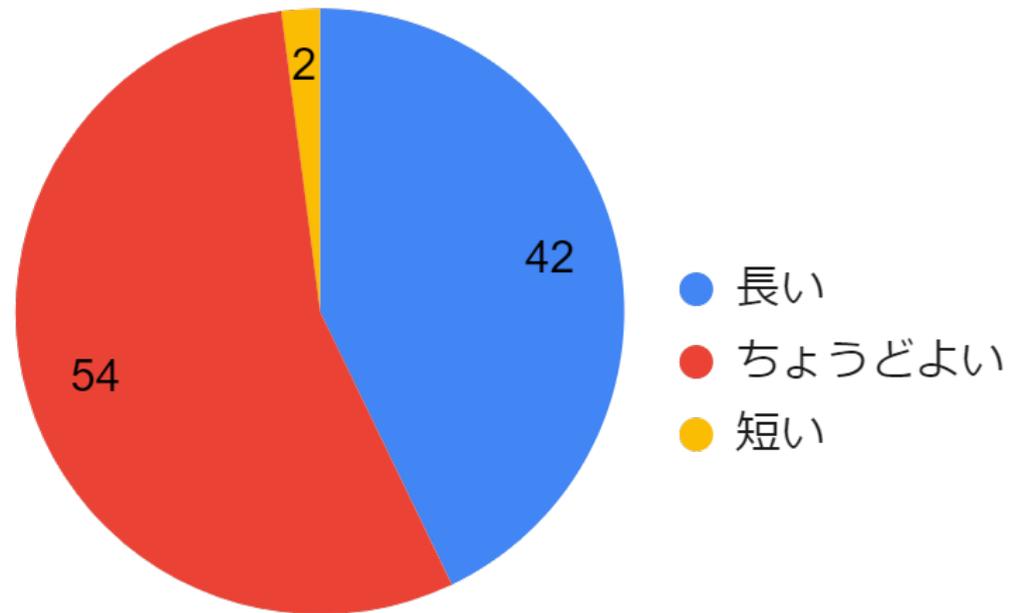
【問6】問5で重視すると回答した項目が具体的にどのような内容であれば応募したいと思いますか。また、問5の選択肢以外に重視する事項があれば教えてください。

(※自由記述、重複内容は割愛、原文ママ)

- その後に論文になったり博士論文の一部となりうる国内外の研究留学と異なり、**インターン期間は自分の研究をストップせざるを得ないため、それに見合うだけの価値** (体験面でも待遇面でも) があるかが重要になると思います
- ジョブ型なので特に**待遇**を重視する。人材として実際に入社したときにどの程度大切に扱われるかということが垣間見える
- **勤務形態、リモート環境**など
- **勤務地**が地元である
- 毎日参加ではなく、**週何回参加という条件**であれば参加しやすい
- Generally, international students (including me) are hesitant to apply because we think that the Japanese work culture is toxic. Maybe in the presentation, the companies can mention that **the company work hours are very flexible** and the boss is really good.
- **Location, salary, and nature of job**
- インターン先は発展性の良い会社なのか (将来就職も繋がりそこで出世できそう) 、もしくはインターン中で研究論文を出せる可能性が高いのか、のいずれかがあればインターン応募したいです
- **自身の専門性とのマッチングが高い企業**であること、**今まで学んできた内容が活かせる**こと。就職したい業界であること。
- 就職活動期間 (D2の6月から内定をもらえるまで) に被らない期間に応募したい
- **重視する内容にも譲れるもの、譲れないもののグラデーションがあり、それらが複雑に絡まり合っている**ため、応募の際に、詳しくうかがいたい。
- 募集時期に関して、**学会シーズン**(3月~4月および8月~9月)**を避けるような時期**であれば、博士学生の立場としては応募しやすいと考えます。
- It is better if we get **a chance to work outside of our own field.**

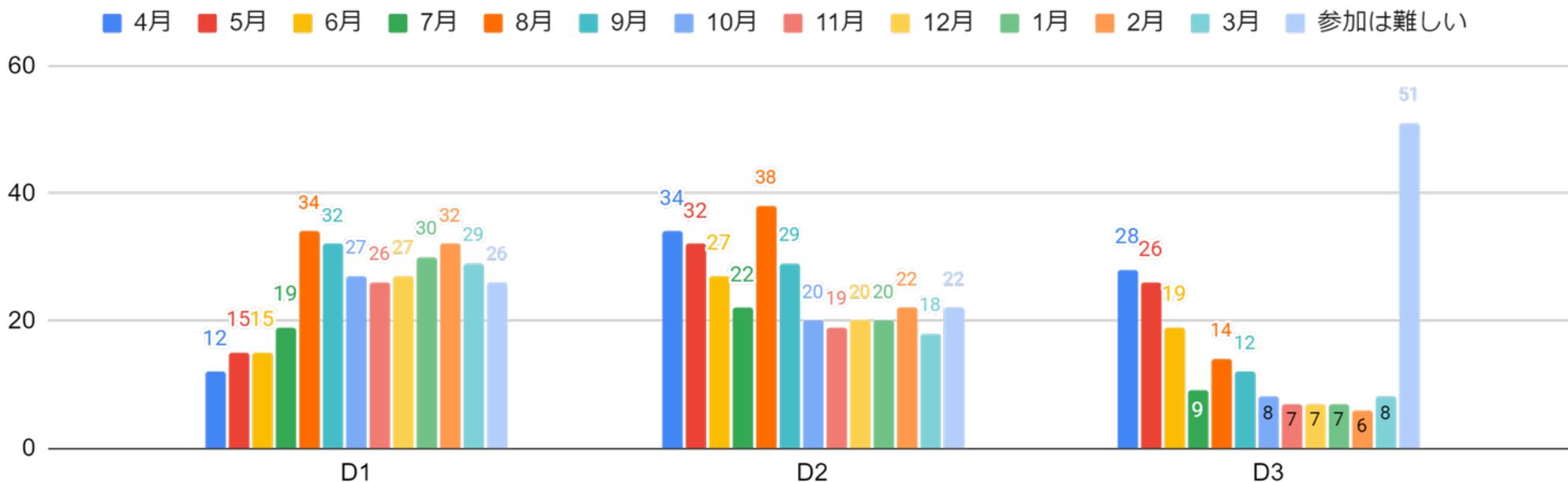
# (応募有無に関わらず) システムに登録した方へ

【問7】ジョブ型研究インターンシップは2か月以上という期間の定めがありますが、これについてどう思いますか。



# (応募有無に関わらず) システムに登録した方へ

【問 8】 2か月間のインターンシップに参加しやすいような時期を教えてください。



- D1の8～9月や1～2月、D2の4～5月や8月に参加しやすいという回答が比較的多い。
- 一方で、研究分野によって学会に向けた繁忙期に差があることから、各シーズンに回答がばらけている様子も見てとれる。

# (応募有無に関わらず) システムに登録した方へ

【問9】2か月という実施期間や参加可能な時期について、ご意見や補足事項があればお教えてください。 (※自由記述、重複内容は割愛、原文ママ)

## <インターンシップ実施期間について>

- 1か月でも良いのではと思いました。
- インターン中の研究などが博士論文などに記載できれば比較的参加しやすいと思うが、2ヶ月は長く感じる。
- ウェットな実験系なのでどう頑張っても長期休業シーズンプラスアルファが限界なうえ、学会などが春秋にあることを考えるとなかなか厳しいものがあります
- もっと短期間のインターンも開催してほしい
- 博士課程から新しい研究室に所属した身としては、ただでさえ少ない研究時間を奪われるのが惜しい。
- 非常に長い、自身の研究との兼ね合いが非常に難しい
- For some doctoral students who need to conduct experiment, time is really important, 2-month onsite internship maybe too long.

「2ヶ月以上」は長い

- 2か月を基準。とするとより柔軟性あるチャレンジや確認ができると思います。
- 企業と学生との相性(性格、能力、業務内容など)を見る上では、ある程度長期の実施期間が必要と考えます。その上で、2か月という期間は適していると考えます。
- 3ヶ月の募集のところ、実験の都合で実際には2ヶ月参加しましたが、プロジェクトの概要等を理解したり社内のシステムを理解するので1ヶ月はかかってしまうので、最低3ヶ月は参加した方がいいかと思います。

「2ヶ月以上」は適切である

# (応募有無に関わらず) システムに登録した方へ

【問9】2か月という実施期間や参加可能な時期について、ご意見や補足事項があれば教えてください。 (※自由記述、重複内容は割愛、原文ママ)

## <インターンシップ実施時期について>

- TA等の業務がある場合、参加時期が授業のない休み期間に限られる。休み期間は学会等の行事が集中するため参加は難しくなる。
- **学会が特に多い時期**がありまして、**被らないなら**極力参加できる方と思います
- 近年博士課程の就職活動の時期が前倒しになってきているため、**主に博士課程1年生、遅くとも2年生の6月までが参加しやすい時期**かと思います。しかし、**あまり早すぎると研究活動との兼ね合いもある**ため、難しいところはあると思いました。
- 時期はあまり拘りはありませんが、やはり決める期間が短くして欲しいです。例えば、この会社を応募し始め、早めに書類選考と面接し結果を得たいです。ダメでしたらすぐ他の会社に応募します。

## <その他>

- 実施期間が適正かどうかは勤務地にもよると思う。
- 研究をストップさせるより、6か月週3回等のようにした方がよかった。人にもよると思われるので、そのあたり相談できると嬉しい
- **低頻度で長期間であれば可能**だが、週にかなりの時間を拘束された上で長期間参加すると研究に支障が出るため調整や応募が難しいと感じている。
- 比較的長期である以上、単なる就職活動であってはならない。

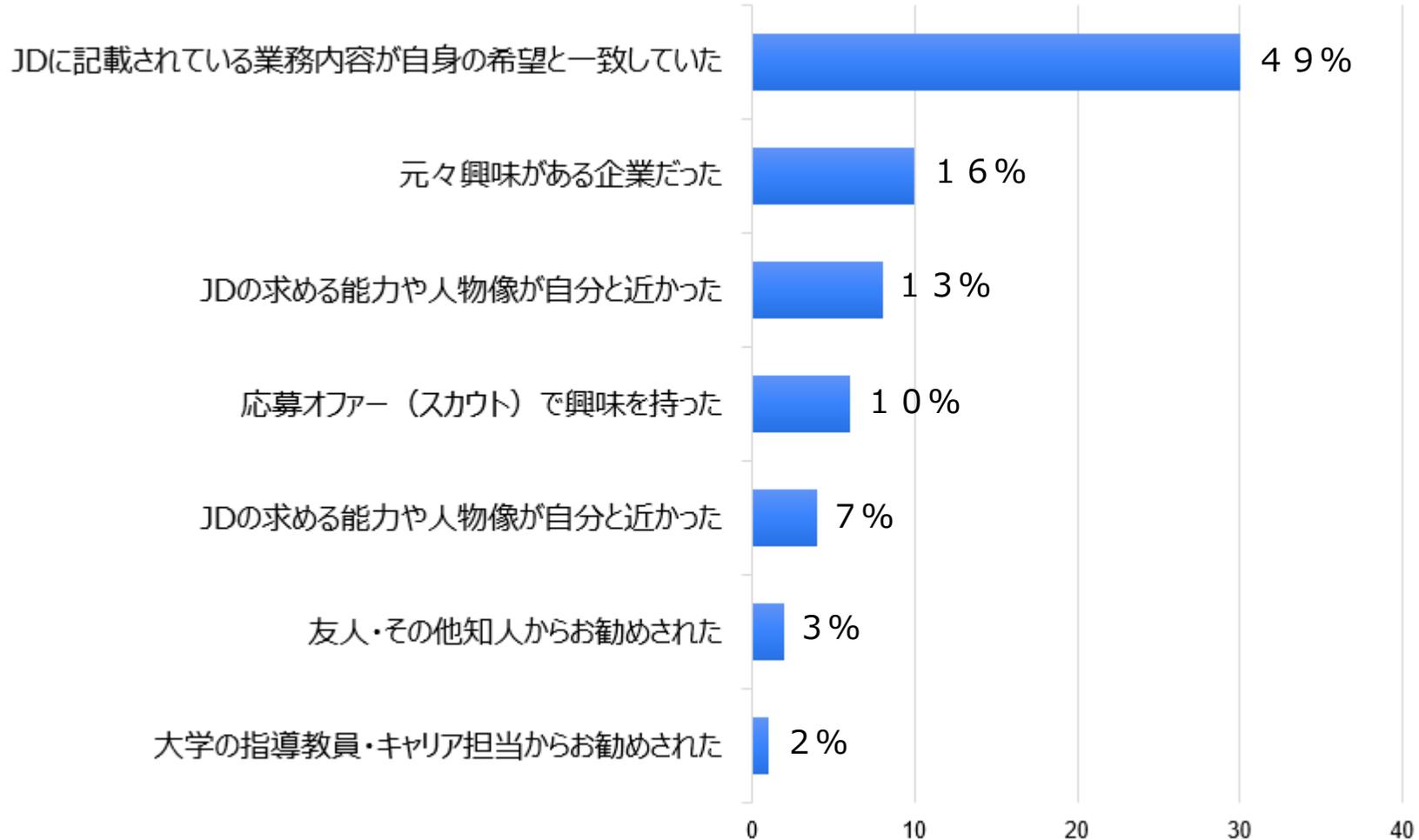
# 2021～2022年度 ジョブ型研究インターンシップへ参加した学生、 受入をした企業へのアンケート結果概要（抜粋）

- 対象者：2021～2022年度にマッチングが成立し（※）、ジョブ型研究インターンシップに参加した学生、及びジョブ型研究インターンシップの受入を実施した企業  
（※）2021年度：23件、2022年度：18件
- 実施形式：オンライン
- 実施者：ジョブ型研究インターンシップ事務局（株式会社アカリク）

# ジョブ型研究インターンシップへ参加した学生へのアンケート結果

## <質問 1>

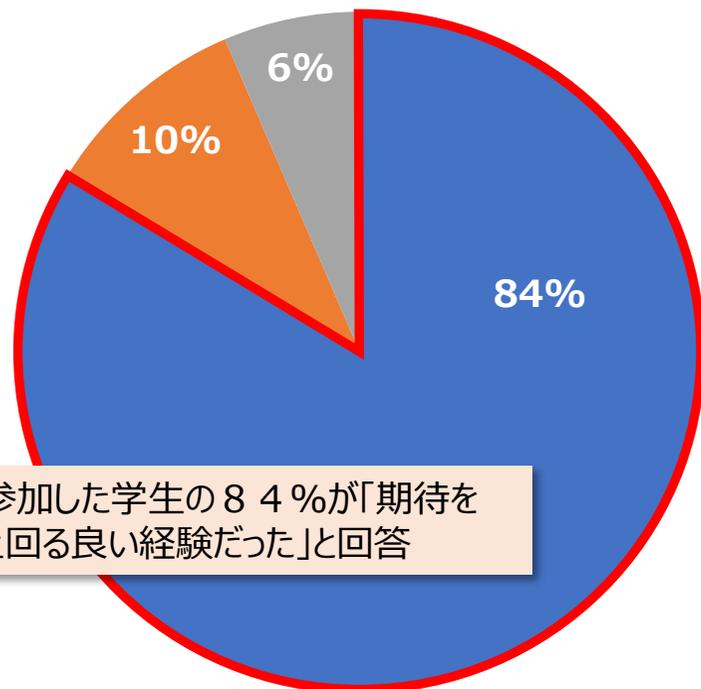
今回応募した企業はどのような理由で選びましたか。（選択式・複数回答可能）（n=31）



# ジョブ型研究インターンシップへ参加した学生へのアンケート結果

## <質問 2>

受入先でのインターンシップ全体の感想について教えてください。(n=31)



⇒ 参加した学生の84%が「期待を上回る良い経験だった」と回答

- 期待を上回る良い経験だった
- 期待どおりだった (JDの記載と概ね一致)
- 期待したほどの経験ではなかった

## <質問 3>

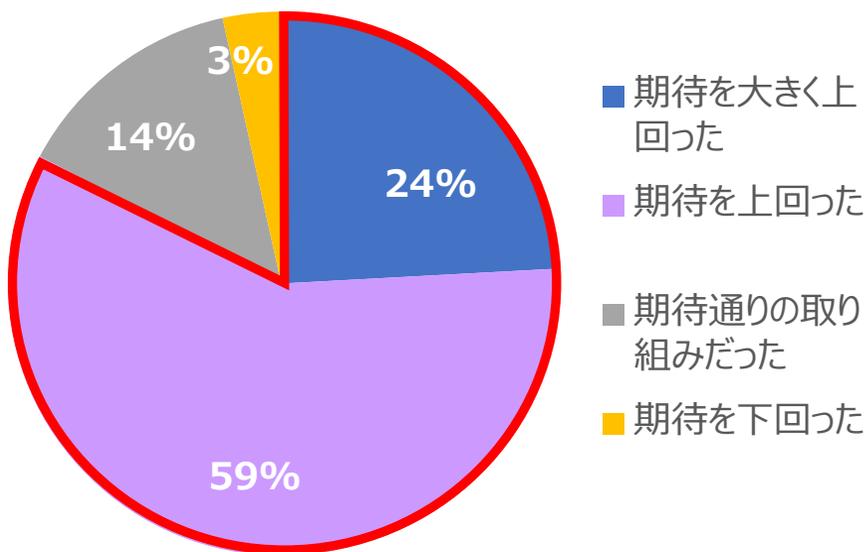
問2で「期待を上回る良い経験だった」との回答を選んだ理由を教えてください。(自由記述)

- **大学の研究との違いがとてもよく分かり、どちらのメリットデメリットが分かってよかったです。**
- **もともと業務内容として提示されていた有機合成では、プロフェッショナルの社員のみなさんから多くのサポートをしていただきつつ、最先端の技術に触れ、新規化合物の探索研究をおこなえたからです。また、当該業務以外にも他部門のみなさんから講義形式で社内の取り組みや研究について教えていただき、想像していた以上に広い範囲のことを知ることができました。**
- **楽しく充実したインターンシップだった。**
- **日本のファンディング機関を運営する文部科学省様において、研究費配分方針の決定方法や分野を横断した俯瞰的視点に立った政策立案方法を、実際の業務を通して体験できたため。また、博士課程で培ったトランスファラブルなスキルを実際の職場でどのように活かされるのかを知れたとても良い機会だったから。**
- **大学では自分の興味に基づき研究を行っておりますが、インターンで取り組んだ研究内容は実用化を目的とした研究であり、異なる視点から研究に取り組むことができたため。**

# ジョブ型研究インターンシップを実施した企業へのアンケート結果

## <質問 1-1>

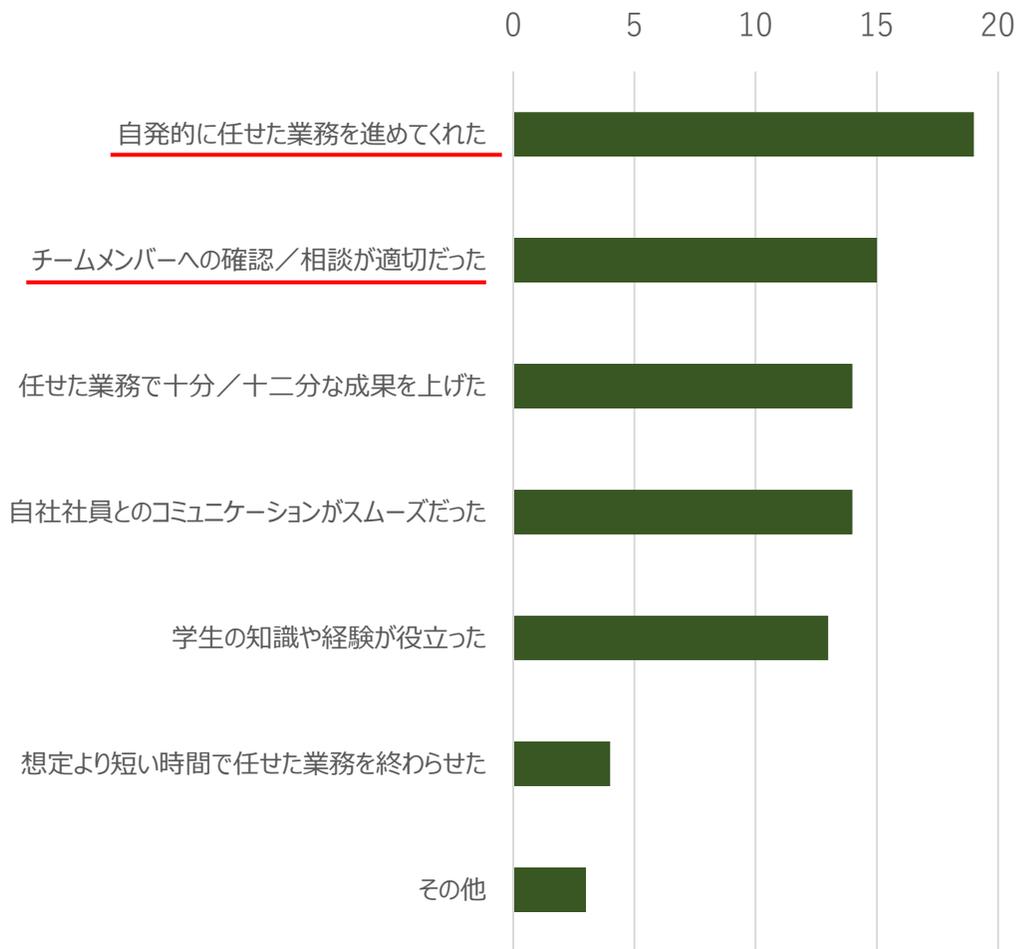
受入学生のインターンシップでの活躍の印象について教えてください。(n=29)



⇒ 学生を受け入れた企業の83%が、「期待を（大きく）上回った」と回答

## <質問 1-2>

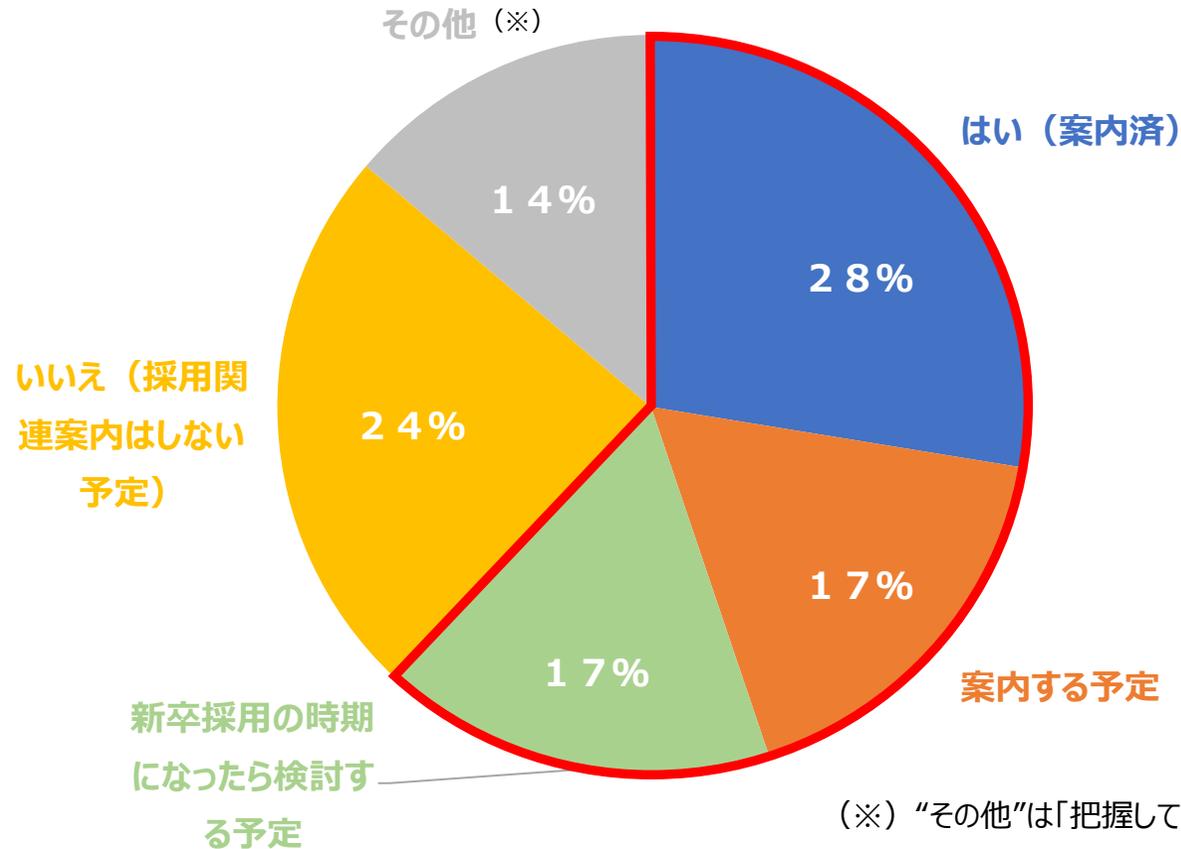
1-1で「期待を大きく上回った」もしくは「期待を上回った」の回答を選んだ場合、その理由を教えてください。(選択式・複数回答可)



# ジョブ型研究インターンシップを実施した企業へのアンケート結果

<質問 2>

インターンシップ終了後、参加学生に採用に関する案内を行いましたか。(n=29)



(※) “その他”は「把握していない」や「申し上げられない」等

⇒ 「はい (案内済)」「案内する予定」「新卒採用の時期になったら検討する予定」をあわせると62%